

2月24日

世界で一つの絵本を作ろう 福祉センターで絵本づくり講座を開催



弟子屈町社会福祉協議会主催の絵本づくり講座が2月24日、福祉センターで行われました。

子育てサポート研修会として開催されたもので、10人が参加。道の子育て支援ふれあい読書推進アドバイザー養成講座を修了した町教育委員会の奥村利之氏を講師に迎え、製本の仕方を学びました。作ったのは、町に住む動物を題材にした『てしかのみんなでかくれんぼ』(左)。参加者のほとんどが製本作業は初めてという方でしたが、和気あいあいと楽しみながら絵本作りを行っていました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐEかけつけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

2月27日

二酸化炭素排出を抑制したビジネスモデルを公開 川湯で低炭素まつり



地域特性である冬のしほれと温泉熱を利用した低炭素型ビジネスモデル実証

事業をPRする弟子屈低炭素まつりが2月27日、旧川湯駅前小学校跡地と川湯観光ホテルで行われました。

同事業は、(株)ドーコン(札幌市)を管理法人とし、北海道大学や町、JA摩周湖など町内団体が参加。雪氷冷熱や温泉熱を利用し、二酸化炭素排出を抑制したビジネスモデルの構築を目指しています。まつりには約80人が参加。川湯温泉駅前の自然水の製造実験が公開されたほか、温泉熱を利用したビニールハウスで栽培されたイチゴなどの試食会も行われました。

3月6日

女性の力で地域づくりに貢献したい 女性のつどいを開催



「未来を築くのは女性の元気!」をテーマに、てしかが町女性のつどい(弟子屈町女性団体協議会主催)が3月6日、公民館で開催されました。

地域の課題や社会問題について理解を深めようと毎年開催されています。今年には177人が参加。「弟子屈町青少年健全育成事業でてしかが冒険隊の活動をとおして」と題した講話や、弟子屈町女性ドライバークラブの活動報告などが行われ、参加した皆さんは真剣に聞き入っていました。

午後からは「笑いと健康について考える」と題して、釧路落語めい人会会員の浅太郎さんと、太極拳指導員の極太郎さんが生涯学習講演会を行い、集まった皆さんを魅了しました。

2月25日

大切な命を守るための救命リレー ホテル関係者などが普通救命講習会を開催



心肺そ生法に取り組む参加者

NPO法人ましゅうの里(藤泰人理事長)と川湯市内の防火対象物(不特定多数の方に利用される建造物)関係者合同の普通救命講習会が2月25日、川湯消防支署

で行われました。講習会には、ましゅうの里と温泉浪漫的宿湯の閣、名湯の森ホテルきたふくろう、グランドホテルアレックス川湯、ケアサポートまつやま、川湯歯科診療所、KKRかわゆ、川湯屋内温水プール、東洋実業から22人が参加。川湯支署署員を講師に、心肺そ生法、AED(自動体外除細動器)講習、骨折けがなどの応急手当、止血法や感染防止対策などを学び、実技も行いました。3月3日には、パレスホテル川湯の皆さんも普通救命講習を実施し、真剣に取り組んでいました。

3月3日

焼死者をなくすために 女性消防団員が防火点検を実施



川湯消防支署と川湯消防団では「緊急通報システム」設置者のうち、高齢者世帯を対象とした防火点検を、女性消防団員により実施しました。

女性消防団員は、暖房器具や台所などの周りを点検し、火気取り扱いの注意を喚起。火事や救急などの緊急時は、ためらうことなく緊急通報システムを利用するよう、対話を交えて指導しました。

また、設置者の健康面に配慮するなど、女性消防団員ならではのソフトさと心配りを生かした予防活動は、地域防災に大きく貢献しています。



協定書に調印する吉田家の皆さん



調印後、記念品を受け取る塩沢家の皆さん

調印式では、塩沢さん、吉田さん、坪井さんが協定書を朗読。元山義久さん(弟子屈町農業委員会会長代理)、山内正夫さん(摩周湖農業協同組合代表理事組合長)、中野長三郎さん(釧路農業改良普及センター所長)の立ち会いのもと、塩沢さんと妻の文子さん、後継者の稔恵さん、吉田さんと妻の真理子さん、後継者の雄貴さん、坪井さんと妻の志乃美さん、両親の保さん、初枝さんが、それぞれ協定書に調印しました。

家族経営協定とは、家族での作業が多く、経営と生活の区別を付けにくい農業において、経営計画や目標、報酬や休日などを明確にすることで、意欲ある農業経営と、より豊かな生活を目指すものです。

より豊かな酪農経営と 家族の暮らしを目指し

家族経営協定調印式

平成21年度家族経営協定調印式が2月24日、役場委員会議室で行われ、式では、塩沢稔宏さん(多)とご家族、吉田良文さん(札友内)とご家族、坪井泰憲さん(奥春別)とご家族が、それぞれ家族経営協定を締結しました。



協定書を朗読する坪井さん

町の話題



町の話題

感謝と期待を胸に 学びやを巣立つ

卒業式・卒園式



(上)式の最中思わず涙が(弟子屈中)
(左)在校生から温かい言葉を送られる卒業生(弟子屈小)

3月1日の弟子屈高校を皮切りに、町内小中学校で卒業式、幼稚園・保育園で卒園式がそれぞれ行われました。今年卒園児・卒業生は、幼稚園・保育園が72人、小学校74人、中学校79人、高校66人です。

川湯中学校では、室山俊美校長から6人の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。弟子屈中学校(吉田亭校長)では、卒業生・在校生がそれぞれ歌を贈り合いました。

川湯小学校(早丸昌徳校長)と弟子屈小学校(伊藤新一校長)では、真新しい中学の制服などに身を包んだ卒業生が、やや緊張した面持ちで式に臨みました。

摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)では、卒業児一人一人に卒園証書が手渡されたほか、皆勤賞や精勤賞の表彰も行われました。

たくさんの保護者などが見守る中、式を終えた卒業生は、希望を胸に、思い出し、校舎を後にしました。



校長先生から卒業証書が川湯中へ贈られ、胸に入学(川湯中)卒園証書を受け取る摩周丘幼稚園

父母や在校生の拍手に送られ退場(弟子屈小)